

医学教育開発研究センター

The word cloud contains the following terms:

- Medical Education
- metacognition
- Dedication
- Physicians
- Frequent
- reflective
- Simulation
- On site
- Interprofessional Education
- Students
- Fun
- Human being
- New
- Fruitful
- Role model
- Leadership
- Clinical Skill
- internationalization
- Evaluation
- Collaboration
- Patients
- Connection
- Hands-on experience
- PBL
- Creative
- Medical English
- Rapport
- Unforgettable
- Professionalism
- cognitive apprenticeship
- Staff development
- Supportive
- Development
- Research
- Medicine
- Communication
- Accessible
- Survive
- outcome
- Activate
- Continuing professional development
- Education
- Core
- Competence
- Education
- Postgraduate Education

Innovate Medical Education

MEDICAL EDUCATION DEVELOPMENT CENTER, GIEU UNIVERSITY

- 新しい医学教育の開発研究と普及
Development of New Strategies & Methods for Medical Education
- 医学教育に貢献できる人材育成
Fostering of Good Educators & Promotion of Faculty Development
- 国内外の医学教育機関との連携・共同研究
Collaboration with Medical Schools & Teaching Hospitals

文部科学省 医学教育共同利用拠点

Collaboration Center for Medical Education, Ministry of Education, Japan

医学教育開発研究センターは2001年4月に全国共同利用施設として発足し、新しい医学教育法の開発、医学教育に貢献できる人材育成、国内外の医学教育機関との連携・共同研究を推進してきました。問題基盤型学習（PBL）の普及・改善、模擬患者参加型のコミュニケーション教育、シミュレーション教育、e-ラーニング、ポートフォリオ評価、国際交流と医療英語教育などに力を入れています。毎年4回開催する「医学教育セミナーとワークショップ」は全国規模の教員養成プログラムとして高く評価されています。2010年4月に全国唯一の「医学教育共同利用拠点」として文部科学省から認定され、2015年4月からさらに拠点継続が承認されました。

知

- ・ PBL-Tutorial 教育の進化と普及
- ・ e-Learning System の開発

心

- ・ Medical Communication 教育の進化と普及
- ・ Professionalism 教育の開発

技

- ・ Simulation 教育の開発
- ・ Teaching & Learning Skill の普及



医学教育セミナーとワークショップ、研修事業、共同研究
Seminar, Workshop, Staff Development, Joint Research

医学教育セミナーとワークショップ

NATION-WIDE SEMINARS & WORKSHOPS ON MEDICAL EDUCATION

医学教育共同利用拠点としての中核的事業。新しい医学教育法の開発と普及を図るために、毎年4回開催し、通算56回、参加者数6000名以上、共催校は25校に達している。多彩なテーマのワークショップとセミナーを企画し、参加者から高い評価を得ている。

Teaching & Learning

Problem-Based Learning
E-Learning, Simulation

Assessment

OSCE, Portfolio, Feedback
Written Exam, License Exam

Integrated Themes

Communication/Simulated patients
Professionalism/Ethics
Clinical clerkship/Reasoning
Community-Based Education
BLS/ACLS, EBM, Basic Science
General Practice, Pediatrics
Expert of Medical Education/
Interprofessional Education



共催校

札幌医大、秋田大、岩手医大、福島県立医大、
筑波大、埼玉医大、東京大、慈恵医大、
千葉大、慶應義塾大、日本医大、
東邦大、横浜市大、名古屋大、
藤田保健衛生大、名城大、金沢医大、
京都大、大阪医大、近畿大、徳島大、
広島大、九州大、久留米医大、琉球大



教務事務職員研修

NATION-WIDE STAFF DEVELOPMENT FOR ADMINISTRATORS

国立大学医学部長会議、全国医学部長病院長会議の委託により、国公立大学医学部・歯学部の教務事務職員を対象として医学教育の基本に関する研修を行っている。

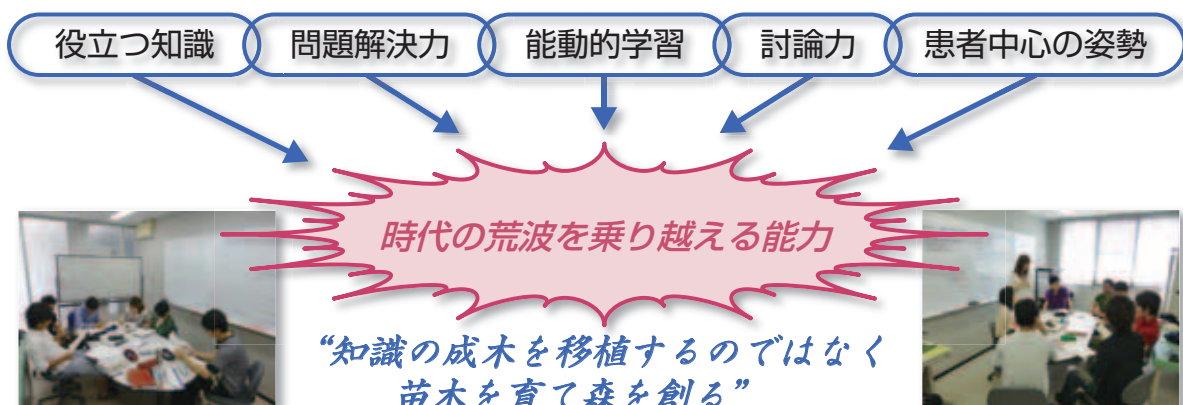
これまで16回（年1回）開催し、約700名の参加者が各大学における教育に貢献している。



PROBLEM-BASED LEARNING

問題基盤型学習

- 医師として患者や社会が抱える医療・医学的な問題を解決し、生涯にわたって新たな知識と技能を獲得・研鑽できるためには、問題解決能力の修得と、自己学習の習慣を身につけることが極めて重要です。
- MEDCではProblem-Based Learning (PBL) の改善を大きな任務の1つととらえ、各種研修会を開催するとともに、岐阜大学におけるカリキュラム改善を通じて、各種のノウハウを蓄積・提供しています。



INTERNATIONAL EXCHANGE

国際交流

● VISITING PROFESSORS

Glasgow, Edinburgh, Aberdeen (UK)
Maastricht (Netherlands)
Khon Ken, Chiang Mai (Thailand)

North Carolina (USA)
Monash (Australia)
IMU (Malaysia)

McGill (Canada)
Hong Kong (Hong Kong)
Kaohsiung (Taiwan)

● INTERNATIONAL COLLABORATION

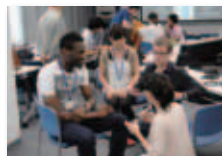
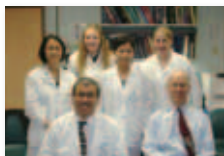
UC Davis, Harvard, Johns Hopkins, Michigan, Oregon (USA)
Seoul, Catholic (Korea)

● ELECTIVE CLERKSHIP ABROAD

岐阜大学医学部では、選択臨床実習期間の選択肢として、欧米・アジア諸国の医療機関で臨床実習を認めています。現在では、毎年学年の約1割の学生が積極的に海外での経験を積んでいます。MEDCではこうした意欲的な学生たちのサポートをしています。

● ENGLISH FOR MEDICAL PRACTITIONERS WORKSHOP

海外臨床実習を希望する学生を対象として、英語力及び面接・診察・診断スキルの向上を図るためのワークショップを定期的開催しています。欧米出身の医師に加え、外国人模擬患者も参加し、実践的な講義を展開しています。



世界からの最新情報

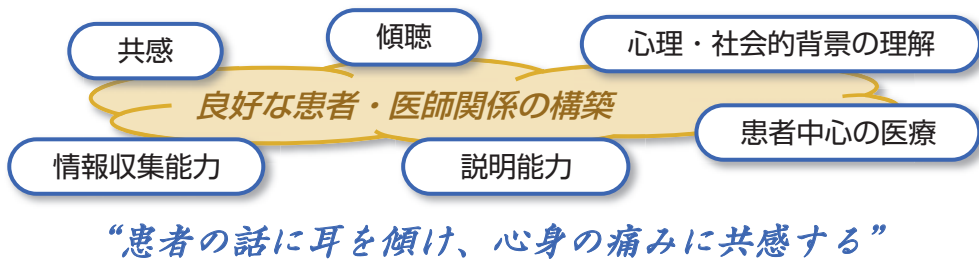
日本からの情報発信

国際的医療人の育成

共同研究

コミュニケーション教育 COMMUNICATION

- 患者との良好なコミュニケーションを通じて信頼関係を構築でき、専門職としてふさわしいプロフェッショナリズムを身につけることが出来るようなカリキュラム構築を行い、ワークショップを通じて全国に発信しています。
- 模擬患者 Simulated Patient (SP) の養成、SPトレーナーの研修、医療コミュニケーション教育法の開発と研究を行っています。



地域体験実習（1年）



医療面接実習（4～5年）



模擬患者勉強会

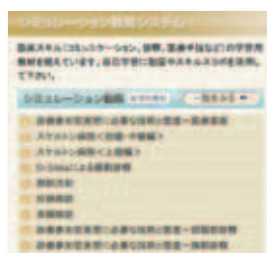
シミュレーション教育 SIMULATION

- 卒前・卒後の臨床実践に向けて、事前学習は今や必須です。MEDCでは、スキルスラボを整備し、シミュレーターを活用した教育プログラムの開発を行っています。
- 模擬患者による医療面接実習もシミュレーション教育の一環です。



e-ラーニング e-LEARNING

- 教育の基本は学習者と指導者の密接な関わりですが、学習効果を高めるために、様々な先端技術を活用することが求められています。MEDCでは種々のe-ラーニングシステムを構築し、その成果とノウハウを提供しています。



シミュレーション
動画サーバー



e-ポートフォリオシステム



インターネットPBL
“楽位置楽The Tutorial”

医学教育学博士課程

DOCTORAL COURSE IN MEDICAL EDUCATION (PhD Course)

(岐阜大学大学院医学系研究科 昼夜開講型社会人大学院 2008年設立)

医学教育学は、医学・医療教育分野における多面的な課題を究明し、効果的な教育方法を研究する学問領域です。

ビジョン

これからの医学・医療を担う人材育成のために、医学教育は重要な役割を果たします。効果的な教育・学習法の研究を進め、それを教育実践に活かし、次世代の医学教育指導者を育成する事が時代の要請となっています。本課程では、医学教育学の専門家として、教員・医師・学生等を指導する能力を有し、教育システムを自ら構築・改善、また研究できる人材の育成を目標とします。

教育・研究分野

カリキュラム開発	地域基盤型医学教育
学生評価法	シミュレーション医学教育
コミュニケーション教育	医学教育指導者の育成法
能動的問題基盤型学習	E-Learning
Professionalism 教育	臨床医学教育・指導 など

教員

岐阜大学MEDCスタッフ陣は、医学教育学に関連する様々な分野を専門とし、大学院生の研究活動に対して的確なアドバイスを提供します。国際経験も豊富で、大学院生は世界標準での研究レベルを意識し、研究を推進することができます。



国際性

Glasgow大学医学部と岐阜大学大学院医学系研究科は、国際交流協定を締結しました。Glasgow大学医学教育学修士課程との連携プログラムを有し、本課程と同時に履修することも可能です。



スーパービジョン

大学院生は屋根瓦方式のチーム体制で指導を受けます。月1回のWEB-リサーチミーティングで、楽しく交流・相談が出来ます。リサーチミーティングの他に、岐阜大MEDCスタッフによる個別のコンサルテーションも行っています。



大学院（4年間）の全体像

1年次

- ・研究テーマを設定
- ・文献調査
- ・研究計画書作成
- ・倫理委員会申請
- ・予備調査



2年次

- ・本格調査
- ・予備調査・文献調査の国内学会発表
- ・論文骨子の構成
- ・簡単な総説、報告の執筆



3年次

- ・本格調査とデータ分析
- ・国際学会発表
- ・原著論文執筆・投稿



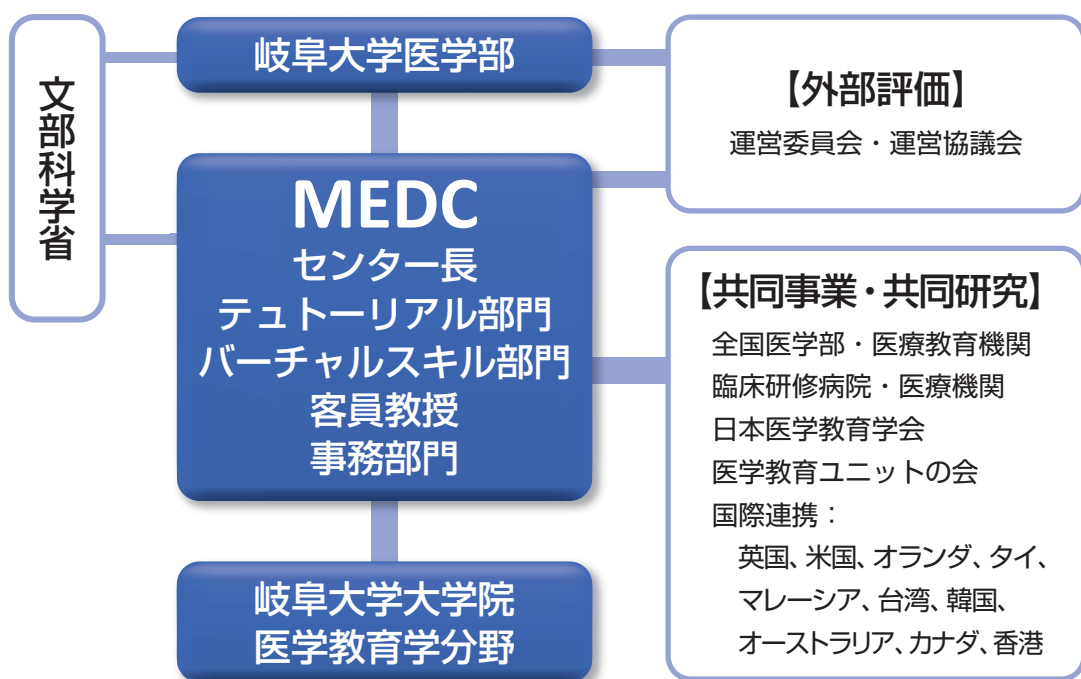
4年次

- ・研究総括
- ・論文受理
- ・学位審査

組織と運営

ORGANIZATION

- テュートリアル部門 TUTORIAL EDUCATION DIVISION
Professor, Associate professor, Assistant professor
- バーチャルスキル部門 VIRTUAL SKILL DIVISION
Professor, Associate professor, Assistant professor



HOMEPAGE



<http://www1.gifu-u.ac.jp/~medc/>

医学教育セミナーとワークショップ
インターネット・チュートリアル
医療面接実習
シミュレーション医学教育
国際交流・医療英語教育
大学院・医学研究
医学教育UNIT

ACCESS



JR名古屋ーJR岐阜
快速で20分
中部国際空港ー名鉄岐阜
特急で60分
JR岐阜駅ー岐阜大学
バスで30分
(バスロータリー9番のりば)

ADDRESS

岐阜大学 医学教育開発研究センター

〒501-1194 岐阜市柳戸1-1 TEL : 058-230-6470 FAX : 058-230-6468

Medical Education Development Center, Gifu University

Yanagido 1-1, Gifu 501-1194, Japan

medc@gifu-u.ac.jp <http://www1.gifu-u.ac.jp/~medc/>

